

- ①階段でつまずきやすい ⑥歯が悪い
 ②片足で20秒以上立てない ⑦便秘しやすい
 ③ときどき息切れがする ⑧運動する機会がない
 ④耳鳴りがする ⑨晩酌は2合以上
 ⑤目がかすむ ⑩タバコは一日10本以上

いかがでしたか？健康管理は先手必勝が長寿の大原則です。読者諸兄におかれましては、くれぐれも自己管理に努め、悔い多き老後を過ごすことのないように、拙文を他山の石として頂ければ幸いです。

次年度理事会

開催日時	平成11年6月22日（火） 11：30～12：30
開催場所	三条ロイヤルホテル
出席者	佐藤（義） 山崎 木宮 石川 山中 落合 長谷川（恵）堀川 西村 梨木 米山 梨本 今井 外山 出席者14／14名
協議事項	1. 次年度予算について 承認 2. 次年度プログラムについて 承認 3. 北クラブ会員名簿作成について 承認 4. 五十嵐英雄会員休会届けの件 承認 5. 地区大会の件 やぶ塚温泉に泊まる北クラブ単独で計画 承認 6. 8／3夜例会「サンセットクルーズ」夫人同伴 承認

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- I 真実かどうか III 好意と友情を深めるか
 II みんなに公平か IV みんなのためになるかどうか

6月29日例会： 会長幹事慰労会 於 饒心亭 おゝ乃 6：30点鐘

7月6日例会： クラブフォーラム・識字率向上月間

今年度方針発表

7月13日例会： 新会員卓話 五十嵐茂会員

7月20日例会： 休会（海の日）

7月27日例会： 新会員卓話 佐藤弘志会員



三条北ロータリークラブ週報

ロータリーの夢を 追いつけよう

例会日
1999. 6. 22
累計 No 612
当年 No 46

国際ロータリー会長 ジェームス L. レイシー 第2560地区ガバナー 富山 富一

会長／落合 益夫
幹事／梨木 建夫
SAA／山中 正

例会日／火曜日 12:30～13:30
例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114
事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX33-8972

行事： 「今年度を振り返って」 落合会長

出席： 本日の出席 52名中 37名

先々週の出席率 52名中 47名 90.38%（前年同期88.68%）

先週のメイクアップ： 6月17日 加茂RCへ 山口龍二さん

14日 巻RC10周年記念式典参加 落合益夫さん、梨木建夫さん

山崎 勲さん、佐藤義英さん、長谷川恵慈さん

ビジター： なし

会長挨拶： 落合益夫



先日20日（日）は梨木幹事、山崎副会長、次年度会長、幹事の5人で巻ロータリークラブの10周年記念式典に参加してまいりました。会員数30名程で少ないながら全員参加の手作りの式典であり、祝宴であり、人情味ある心あたたまるプログラムでした。帰りのバスの中でもう30分延長して欲しかったとなごり惜しんでいました。

本例会場での最後の会長挨拶となりました。

皆さんにはつたない挨拶に長々つきあっていただきました。有難うございました。

今日は、私も含め、ロータリアンの資質について考えてみたいと思います。昨年の「ロータリーの友」に載った記事をご紹介します。東京の女子高校生が、交換学生として、オーストラリアでの一年間を振り返って、帰国報告した際のスピーチの一部です。

「4軒のホストファミリーのお世話になりました。家庭によっては、ロータリアンでさえ生活が厳しく、毎日の食べ物さえも儉約するホストファミリーもありましたが、逆に考えてみれば、そんな状況でも交換学生を預かろうとする彼らの懐の大きさが感じられました。」

この記事を読んで、私自身と比べてみますと、このホストファミリーより、生活は豊かかもしれ

ないが、ロータリアンとしての資質は、はるかに劣ることを知りました。このこと以来、私はロータリアンとしての資質が気になるようになりました。そして、ホストファミリーのロータリアンの心の広さに近づけるよう心がけたいものであります。

幹事報告： 梨木幹事

- ・三条クリーン協議会より 五十嵐川クリーン作戦区域について
- ・高木ガバナーノミニより 地区大会俳句募集のご案内
- ・三条市吹奏楽団より 招待状が届いています

三条市吹奏楽団第21回定期演奏会

日時 平成11年7月4日（日）午後2時から

会場 加茂市文化会館 大ホール

委員会報告：

次年度親睦委員長 西村会員

サンセットクルーズの件

8／3 4時30分三条発

新潟万代島出航

60名の予定

次年度社会奉仕委員長 梨本会員

クリーン三条の件

7月10日 6：30集合（雨天決行）

ニコニコボックス：	22日現在累計 1,068,980円
-----------	--------------------

落合益夫君 とうとう最後の例会日となってしまうました。振りかえってみますとアッという間の出来事のように思います。会員の皆様には誠にお世話になり、各委員長様にはお骨折りいただき感謝申し上げます。

梨木建夫君 //

山崎勲君

外山晴一君

「今年度を振り返って」： 落合益夫会長

今年度は、R I ジェームス L レイシー会長の言葉、私達は思いやりの心あればこそロータリアンになりました。私達は他の人々のことを心に掛けています。地域社会のことを心に掛けています。私達の住む世界のことを心に掛けています。これらのことを心に留めて、「FOLLOW YOUR ROTARY DREAM」「ロータリーの夢を追い続けよう」のテーマのもとスタートいたしました。

は子供に対し重要な役割を背負っています。近代の村は家族が一緒に住まない、個人は扉の中で孤独です。子供の上限は18歳になっていますが、その為、様々な障害を一人で乗り越えなければなりません。いじめっ子もいます。学校も社会も多くの精神的なストレスを与えます。これらに対して大人はどのような手助けが出来るでしょうか。私達が忘れてならないのは、各家庭で充分なことをしていないのではないか、ケアを忘れていないかという事です。

私達は国際理解と友愛の夢を持って、会員、クラブ、財団がこれ等を認識しなければなりません。平和への道筋を忘れては行けません。

2005年は100周年です。200万人の子供達が結核、ジフテリア、ポリオなど感染症にかかっています。ワクチンも増えていますが、エイズも増えていきます。平和と思っていても10万人の人が戦争の為のショックを受けています。

話は変わりますが、財団でのアジアの立場は重要で、インドや韓国、香港についてロータリアンは話し合う必要があります。アジアの社会に関与する事が必要でしょう。

5／8は千宗室さんのお話がありました。

[日本の文化を子供達に]という事でした。占領後アメリカ文化が入ってきて畳む文化は吊す文化に変わってしまった。整理整頓もフトンからベットへ変わった。子供にはしつけが必要で、甘やかさない様にして欲しい。日本はデモクラシーをはき違えている。日本は生活や考え方で（の）が中心になっている。親の子であり、子の親であり、学校の生徒であり、生徒の学校、生徒の教師です。戦後はそれが逆転して（と）になってしまった。

（と）と（の）の違いは大きい、考え方が変わる原因となってしまった。ロータリアンはこの（と）の世界から戸（と）をはずす努力をして下さいと求められました。

これらのカンファレンスの中で多くの有意義な質問が出ましたが、又の機会にお話しできればと思います。兎に角、皆さんもこんな会議には可能な限り参加される様をお願い致します。どうもありがとうございました。

会員の声 山本 賢

「医者の不養生」とはよくいったものです。私も齢五十を超えて、体のあちこちに不具合が出て参りました。若い頃に、仕事にかまけて自分の健康を省みる事などしてこなかったツケが回ってきたのでしょうか。

職場の健康診断でも肥満度などで引っかかってしまいました。戦後の物不足の時代に幼い頃をすごしましたので、つい口が卑しくなっているのですが、医師として誠に汗顔の至りです。

また、俗に「飲む・打つ・買うは男の甲斐性」などといいますが、（決してほめられたことではありませんが……）いずれも健康でなくてはかなわぬ事です。

ふと仕事の合間に読んでみたものの本によりますと、50歳代の健康度は以下の項目が1～2個該当で「安心」、3～4個該当で「要注意」なのだそうです。